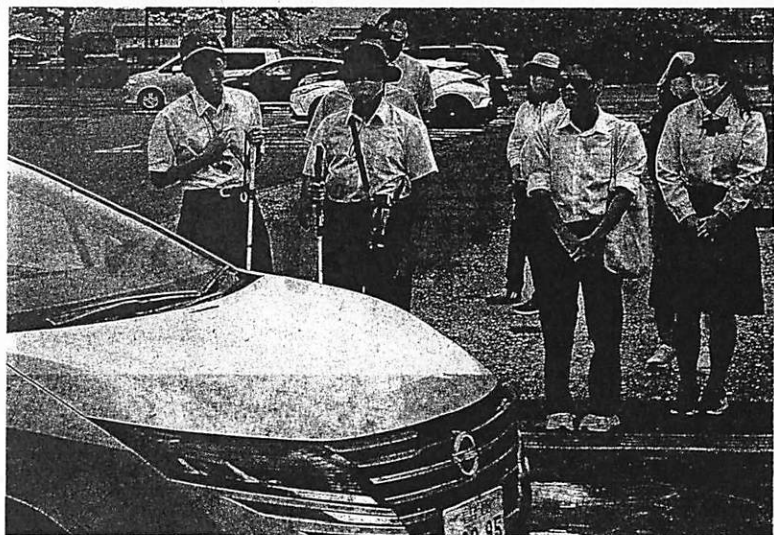


EV車接近「音」に注意



県立盲学校

通報装置学ぶ教室 初開催

近年増加している電気自動車（EV）は走行音が小さく、視覚障害者は車の接近に気付くにくい。これを受けて福井市の県立盲学校で6日、EVなどへの取り付けが義務化されている「車両接近通報装置」から発する音について学ぶ交通安全教室が初めて開かれた。生徒たちからは「EVは接近していることがわかりにくくて、ヒヤッとしたことがある」との声が上がった。

「意識すると日常でも敏感に」

国土交通省は現在、視覚障害者や歩行者への安全対策として、EVやハイブリッド車に対して、車の接近を人工的な音で知らせる車両接近通報装置の取り付けを義務化している。

この日は、車に関する技術開発などを行う「オートテックジャパン」（栃木県）の社員2人が来校。EVの車両接近通報音の特徴として、V走行速度に応じて音が高くなるV時速25kmまたは30km以上になると鳴りやむバック時は断続的に鳴る—などと説明。

「この『ブー』という音を覚えて。意識すると日常でも敏感になる」と伝え

EV車の車両接近通報音を聞く生徒たち。6日、福井市の県立盲学校で

校舎の駐車場でEVの音を実際に聞く授業も行われた。高等部3年の大野温さん（17）は「まだまだEVは増えるだろうから、もっと気を付けて歩きたい。横断歩道で車の接近に気付くと、進めばいいか止まるべきかわからない場面もある」と感想を述べ、「一般ドライバーに対して、白杖を持つ歩行者が困っているようなら、ドライバーも窓を開けて声をかけてほしい」と話していた。

オートテックジャパン技術開発統括部の斉藤勇さんは「視覚障害のある人が横断歩道を渡るのは命懸けと聞く。少しでもサポートになれば」と述べた。

また視覚障害者らの団体「視覚障害者信号機横断プロジェクト」代表の谷田妙子さん（東京都）も来校。横断歩道の両側から音と発光ダイオード（LED）の光で誘導する「高齢者・視覚障害者・盲ろう者用LED付音響装置」をPRした。

北陸新幹線の敦賀駅間を巡り、京都市市内の地下にトンネル建設するルートに関する決議案を可決した後、現行の小浜—京間で大阪までの早期開業を目指す福井県に動揺が走った。

記者会見するi-spの梅田武史最高経任者（中央）ら。6日前、東京都千代田区



日本将棋連盟の歴代会長（戦後）

1	木村義雄	1947年12月～48年3月
2	渡辺東一	48年3月～53年5月
3	坂口允彦	53年5月～55年3月
4	萩原 淳	55年3月～57年3月
5	加藤治郎	57年3月～61年5月
6	原田泰夫	61年5月～67年5月
7	坂口允彦	67年5月～69年5月
8	丸田祐三	69年5月～73年5月
9	加藤治郎	73年5月～74年7月
10	塚田正夫	74年7月～76年12月
11	大山康晴	76年12月～89年5月
12	二上達也	89年5月～2003年5月
13	中原 誠	03年5月～05年5月
14	米長邦雄	05年5月～12年12月
15	谷川浩司	12年12月～17年2月
16	佐藤康光	17年2月～23年6月
17	羽生善治	23年6月～25年6月
18	清水市代	25年6月～

※日本将棋連盟による、敬称略

日本将棋連盟は6日、東京都内で棋士総会と理事会を開き、今限りで退任した羽生善治会長（54）の後任に女流棋士で常務理事の清水市代女流七段（56）を選出、史上初の女性会長が誕生した。清水新会長は記者会見で「光栄で身に余る大役。継承と挑戦の両輪を力



清水市代女流七段

強く回していくことで活性化させていきたい」と決意を表明した。

総会では、女流タイトル戦の白玲戦を通算5期獲得して永世称号の「クイーン白玲」を手に入れば、女流棋士とは制度の異なる棋士に編入する案も可決した。

会長の任期は2年。歴代会長は故大山康晴15世名人、谷川浩司17世名人（63）ら名だたる棋士が務めてきた。これまで女性の棋士は誕生しておらず、女流棋界

を長く支えてきた清水新会長が連盟のかじ取り役を担う。女性初の棋士誕生に向けての環境整備にも取り組む。

棋士になるには養成機関の奨励会を突破するか、プロ編入試験の合格が条件。西山朋佳女流三冠（29）と福岡香奈女流六冠（33）は、奨励会最高段位の三段まで昇段したが退会、編入試験も受験したが不合格だった。

今回の棋士編入制度は、棋士を目指す女流棋士にとって新たな道が開かれたことになり、現在、白玲を持つ西山女流三冠はあと2期獲得すれば、棋士の四段になれる。

清水新会長は東京都出身。1985年、女流プロ入り。これまで女流名人10期など計43期の女流タイトルを獲得、第一人者として活躍した。2017年に女性で初めて連盟の常務理事に就任した。

羽生前会長は昨年に連盟

能登キリコ万博で披露

地震被災者ら復興発信



昨年の能登半島地震や記録的豪雨で被災した石川県珠洲市馬線町の住民らが6日、伝統行事「馬線キリコ祭り」を大阪・関西万博で披露した。大型の灯笼「キリコ」とともに会場を練り歩き、復興を進める姿を発信。

午後7時ごろ、万博会場の屋外施設で開かれた「令和の万葉フェスティバル」に登場。住民らが復興のシンボルと口をそろえるキリコが点灯した。太鼓や笛の音が響き「やっせー、やっせー」のかけ声に合わせ、ピンクや赤のどてらに身を包んだ約70人が、堂々と会場を巡行した。

馬線キリコ太鼓保存会の事務局豊平慶彦さん（34）は「困難が続いたが、これが復興の弾みになるはず」と前を向いた。珠洲市出身の大学1年金田青龍さん（20）は「東京町田市」は「祭りがあから団結できるのだ

大阪・関西万博で披露された石川県珠洲市馬線町の伝統行事「馬線キリコ祭り」。6日午後、大阪市此花区の夢洲で

民間

アイフ

宇宙企業i-sp（アイスペース、東6日、着陸船「レジス（再起）」が月面失敗したと発表した4時過ぎの着陸に向したが、十分に減速

トップ研究者が東北大が採用。米有力大東北大は6日、2年度までの5年間で0億円をかけ、世界

を感じてほしい」とフェスティバルで市のほか、鳥取市など集にゆかりのある地り、伝統芸能が果た

京都市議会 説明会 県内 延びる

北陸新幹線

北陸新幹線の敦賀